



最新トレンドを交えて  
大好評セミナーを  
ブラッシュアップ!

100兆円の巨大市場を生む「プロップテック(PropTech)」。  
不動産会社はどこにビジネスチャンスを見出すべきか!

プロップテック・不動産テックに加えて「Web3」「AI」が大きなトレンドに!

# プロップテックの進展と 不動産ビジネスチャンス

- 多様なPropTechサービス提供事例から今後のビジネスチャンスを見出す
- 大きなトレンドとして出現した [Web3] [AI] の不動産分野への展開を読む
- 不動産・建設分野のデータ活用、DX推進はビジネスをどう変えるのか?

プロップテック(PropTech)、不動産テックは世界的なトレンドであり、不動産ビジネスの各業務領域でスタートアップが相次いで誕生・成長しています。

プロップテックとは、土地や建物といったPropertyを対象としたイノベーションを指し、「100兆円の巨大市場を生む」と言われています。すでに不動産賃貸・売買取引ではワンストップ型サービス・ビジネスモデルが国内外で拡大しており、SaaSに対しての金融機能の追加・協業やサステナビリティを意識した環境配慮領域もプロップテックの事業機会となり、新たなサービス・起業が続々と登場しています。加えて、昨今では大きなトレンドとして出現した [Web3] [AI] が不動産ビジネスを大きく変えようとしています。はたして不動産事業者は、この潮流のなかでどこにビジネスチャンスを見出せばよいのでしょうか。

本セミナーでは、プロップテック市場に精通し、その領域のスタートアップ企業に投資するプロップテック特化型ベンチャーキャピタルを運営する業界第一人者にご登壇いただき、事業の有望性や事業機会等について体系的に解説していただきます。

開発・分譲・賃貸・管理・仲介・投資といった、あらゆる不動産事業に携わる方々のご参加を強くお勧めいたします。

## FAX用 参加申込書 プロップテックの進展と不動産ビジネスチャンス

会社名(フリガナ)	貴社業種
所在地(〒 )	振込予定日( 月 日 ) 当日現金支払い希望... <input type="checkbox"/> ご担当者名( )

TEL ( ) FAX ( )

出席者①	氏名(フリガナ)	所属部署・役職名
	E-MAIL	
出席者②	氏名(フリガナ)	所属部署・役職名
	E-MAIL	

開催日時 2025年2月13日(木) 13:00~17:00

会場 東京ガーデンパレス  
東京都文京区湯島 1-7-5 ☎03-3813-6211 (代)  
※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参加費 57,200円/1名様 ※消費税及び地方消費税を含む  
●同一申込書にて2名様以上参加の場合  
49,500円/1名様につき ※消費税及び地方消費税を含む  
※テキスト代を含む

主催 総合ユニコム(株)/月刊プロパティマネジメント

ネットで申し込み 下記URLの弊社ホームページからもお申込みできます。  
<https://www.sogo-unicom.co.jp>

FAXで申し込み 左下の申込用紙へ記入し、下記フリーダイヤルへFAX願います。  
☎0120-05-2560 [不通時はFAX.03-3564-2560]

お問合せ先/総合ユニコム(株) 企画事業部 ☎03-3563-0099(直通)

- お申込み方法
  - ・【インターネットでのお申込み】弊社HPの該当セミナーページよりお申込みください。詳細は弊社HPをご覧ください。
  - ・【FAXでのお申込み】左記「参加申込書」にご記入後、上記FAX番号にてお申込みください。参加者宛に「参加証/請求書/銀行振込用紙」を郵送いたします。
  - ・【開催直前や当日の申込受付】開催直前や当日でも空きがあれば受け付けます。その場合は、メールまたはFAXにて「受講案内」と「支払方法」をご連絡いたしますので、必ずメールアドレスかFAX番号の明記をお願いいたします。
  - ・当日は「参加証」をご持参いただき、受付に「お名刺1枚」と共にお渡しください。
- 参加費のお支払について
  - 【インターネットでのお申込み】
  - ・弊社HP経由でのお申込みは限り、クレジットカード決済が銀行振込かの選択が可能です。なお、クレジットカード決済は申込み時のみ承りますのでご注意ください。銀行振込の場合は、下記FAXでのお申込みの項目をご一読ください。
  - ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金フォーム備考欄」にその旨をご記入願います。
  - 【FAXでのお申込み】
  - ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお申込み願います。
  - ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
  - ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
  - ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印をご記入願います。
- お申込者が参加できない場合について
  - ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。
- キャンセルについて
  - ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(お振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560宛に必ずご連絡ください。返金手数料として3,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。
- その他ご連絡事項
  - ・お席は受付順を基本に当方に指定させていただきます。
  - ・講演中の録音・録画、携帯電話等での通話はお断りいたします。
  - ・講演中のPCの使用は可能ですが、使用の際には周囲へのご配慮をお願いします。
  - ・ご記入いただいた個人情報、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
  - ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。
  - ・開催中止の場合には受講料を返金いたしますが、それ以外の理由では返金できません。また、開催中止の際の交通費の払い戻し・キャンセル料の負担はいたしかねます。

# プロップテック PropTech の進展と 不動産ビジネスチャンス



## PROGRAM

※15時前後にコーヒーブレイクを挟みます



### 桜井 駿

(株)デジタルベースキャピタル  
代表パートナー

さくらい・しゅん ●みずほ証券(株)、(株)NTTデータ経営研究所を経て、2019年に(株)デジタルベースキャピタルを設立。規制産業領域であるPropTech、Fintechのスタートアップ投資・育成、大手企業向けのデジタル戦略、DXに関するコンサルティングを行なう。不動産・建設領域のスタートアップコミュニティ「PropTech JAPAN」の設立や、(一社)Fintech協会事務局長、経済産業省新公共サービス検討会委員などを歴任。23年4月に設立された(一社)不動産建設データ活用推進協会(PCDUA)の代表理事も務める。主な著書に『決定版 FinTech』(東洋経済新報社刊、共著)、『知識ゼロからのフィンテック入門』(幻冬舎刊)、『超図解ブロックチェーン入門』(日本能率協会マネジメントセンター刊)等をはじめ、近著に『100兆円の巨大市場、激変 プロップテックの衝撃』(日経BP刊)がある。

## I. PropTech(プロップテック)の概要とトレンド

- なぜ今、PropTechが注目されるのか
  - ・ PropTechとXTechの連携
  - ・ IT、デジタル化が遅れる不動産業界
  - ・ PropTechスタートアップの歴史とトレンド
  - ・ PropTechの投資額(約2.7兆円が投資される)
  - ・ 海外PropTech/ConTech主要企業の地域・業種別割合
  - ・ 規制・ルールへの動向
  - ・ ネット不動産の解禁
- 不動産・建設分野のDX推進
  - ・ 不動産ID創設の経緯とユースケース
  - ・ Reonomy(商業用不動産の総合データベース)
  - ・ 国土交通省が進めるPLATEAU(プラト)とは
  - ・ オープンデータとしての公開とユースケース

## II. PropTechによるサービス、企業事例と今後の方向性

- PropTechのサービス分類
  - ・ ITを活用して不動産関連サービスを提供(個人向け/法人向け)
  - ・ ITツールを不動産関連会社に提供(開発業務/仲介業務/管理業務)
- 賃貸・管理領域のトレンドとサービス提供事例
  - ・ 不動産賃貸契約にまつわる初期費用分割払いサービス
  - ・ 中国最大の不動産O2O(Online to Offline)プラットフォーム
  - ・ 賃借人と貸借人を直接マッチングするプラットフォーム 等
- 不動産売買領域のトレンドとサービス提供事例
  - ・ ブロックチェーンを用いた不動産取引プラットフォーム
  - ・ 物件探しのBtoB情報交換プラットフォーム
  - ・ 売りに出る物件をテクノロジーで予測する業務支援ツール 等
- 不動産開発・建設建築分野の全体像とサービス提供事例
  - 〈企画、BIM/CIMの活用〉
  - ・ AIを用いた建設物のリスク調査
  - ・ 大規模施設に対するインドアマッピングサービス
  - ・ 3Dグラフィックによる内見・計測サービス 等
  - 〈スマートハウス、IoT〉
  - ・ エネルギー消費量を大幅に削減するIoTサービス
  - ・ 工事発注者と元請け業者のマッチングサービス
  - ・ 中古物件購入とリノベーション依頼のワンストップサービス 等
  - 〈施工管理、建設SaaS〉
  - ・ 建設プロジェクト効率化のためのSaaS
  - ・ 業者間で建設用重機を貸し借りできるプラットフォーム
  - ・ 建設状況を把握できる管理ツールソフトウェア 等
  - 〈エネルギー、スマート分野〉
  - ・ 施工から管理までを一元管理するサービス
  - ・ CREセクター特化のエネルギー管理SaaS
  - ・ ハードウェアセンサーとエネルギー管理プラットフォーム 等

## III. 不動産会社はどのように取り組むべきか

— [Web3][AI]の不動産分野への展開を視野に

- 規制改革とバズワードが合流
- Web3関連のトレンド
  - ・ メタバース(コミュニケーションが可能な3次元の仮想空間)
  - ・ STO(Security Token Offering: デジタル証券の発行による資金調達)
  - ・ NFT(Non-Fungible Token: 非代替性トークン)
  - ・ DeFi(Decentralized Finance: 分散型金融。中央管理者のいない金融仲介サービス)
- Web3不動産とは
  - 〈リアル〉
  - ・ 不動産STO: 不動産をデジタル証券化する新たな資金調達、投資方法
  - ・ 不動産NFT: 不動産の所有権や利用権をトークン化する
  - 〈デジタル〉
  - ・ メタバース不動産: デジタル空間上の土地や建物を取引できる
  - ・ 不動産DeFi: リアル、デジタルの不動産を担保にして資金調達できる
- Web3不動産の事例
  - ・ 日本初の不動産STOとそのスキーム
  - ・ メタバース上における不動産取引とその活用事例
  - ・ DeFiの事例
  - ・ 実物不動産のNFT取引
- Web3不動産の今後の見通し
- 不動産業務におけるAIの活用事例
  - ・ AI活用のパターン
  - ・ 不動産開発から流通におけるAI活用の型
  - ・ 不動産×AIの取組み事例
- スタートアップの思考と大手企業にありがちな思考の違い
- API活用のトレンド
- リアル、デジタルを「顧客起点」でデザインする

### 過去開催セミナー参加者の主な声

全体像から説明があり、理解が深まった。自社でできるアイデアもあった(不動産業)/DAOの活用やSTOについて勉強になった(総合リース)/不動産テックの最新事例が知ることができてよかった(電鉄会社)/具体的なサービス事例・企業事例が豊富で参考になった(不動産企画)/海外事例がとても勉強になった(クラウドファンディング)/本業以外でもDXが関わってくる分野がよく理解できてよかった(不動産業)/ICT、デジタルの要素で物件価値を高める方策に関心をもった(不動産開発)/PropTech全体のトレンドや規制緩和、API開放に興味を覚えた(金融機関)/個別事例が公開情報に限らず、より具体的な生の話を聞いてよかった(不動産サービス)/BtoBテック分野に可能性があると実感でき、非常に参考になった(アドバイザー)/顧客とユーザーの切り分け、スタートアップの具体例に興味をもった(金融機関)/テンポよく進み、内容も包括的かつ具体的で、大変有意義だった(業務支援システム)